ミンタラ

アイヌ語で「広場」の意味

文　北原 次郎太　　絵　小笠原 小夜

テーマ　山菜採り

春は、山や野原で食べ物を集める季節の始まりです。初めに採るのはプクサ（ギョウジャニンニク）。まだ雪が残る中、プクサの芽のきれいな緑色が見え始めると、人々の心も春めいてきます。

採るのはフキノトウやアズキナ、ニリンソウ、ミツバ、フキ、ウド、コゴミ、ワラビ、ゼンマイなど。種類によって根、くき、葉など、使う部分もさまざまです。

採り方もいろいろあります。アイヌ語では何かを採ることを「カラ」といい、はもので切ることを「チャ」、根をほることを「タ」と言います。

昔は家族の中でだれがどの仕事をするのか、ある程度決まっていました。山菜採りは主に女性の仕事。仲の良い人同士や、母とむすめで連れ立って出かけました。この季節しか採れないものは、1年分集めて保存します。キャンプをしながら遠くまで採りに行くこともありました。

保存する時には、くさらないようきちんとかわかします。まず水できれいに洗い、細い植物はくきを編んで、軒などにつり下げます。くきが太いものはかわきにくいので、刻んですだれに広げておきます。風で飛ばされないよう気をつけ、雨が降ったらすぐしまいます。球根は針と糸でネックレスのようにつないで干します。工作のように楽しい作業です。

干したものは、料理の前に水につけておくと、またやわらかくなります。スープの具にしたり、煮物にしたり、ご飯にたきこんで食べます。

保存しておいた山菜は、冬の間のきちょうな食べ物です。けれども、とれたての山菜のおいしさはやっぱり格別。しんせんな山菜を毎日食べられる春は、楽しい季節です。

「山菜採り」の動画がどうしん電子版で見られます。スマートフォンを持っている人はＱＲコードから読みこんでください。

（提供・札幌大学ウレシパクラブ）

アイヌ語の発音ガイド

小さいク　舌がのどのおくをふさぐようにして止める
小さいシ　弱く短く発音する
小さいツ　舌の先を前歯のうらにつけて止める
小さいプ　くちびるを閉じて止める
小さいム　くちびるを閉じて止める
小さいラ、リ、ル、レ、ロ　日本語の五十音のラ行にているが、弱く短く発音する
小さいハ、フ、ヘ、ホ　軽く息をはく

クイズの答え

クイズ

道内には、アイヌ語が基になった地名がたくさんあるよ。いくつ読めるかな。

①後志管内**蘭越**町
②釧路管内釧路町**来止臥**
③上川管内剣淵町**美羽烏**

答えはこのページの右側に

読む 聞く 話す

音声を聞くことができます。スマートフォンを持っている人はＱＲコードから読みこんでください。

トイタ　トイタ　クキ　クキ／
エハ　オカヤ　ヒナㇰ　アン／
エハ　イサㇺマ　タネクサン

畑仕事　するよするよ　ヤブマメは　どこにいるんだい　ヤブマメいないな　もう帰るよ

春にはトイタ（畑仕事）も始まります。カッコク（カッコウ）が鳴くと畑を作り、キビやヒエ、アワなどをまきました。

この歌は「エハ」と呼ばれるヤブマメをしゅうかくするときに歌います。渡島管内長万部町で歌われてきました。春と秋に、ツルや土の中で育ったマメを採り、にたり、ご飯にたいたりします。

アイヌはあらゆるものに命が宿り、人の役に立つほどえらくなると考えてきました。「採りに来たよ」と知らせれば、人の役に立ちたいエハが急いで出てくる、という意味なのでしょう。

ペカチ マッネカチ

郷右近 仁さん（中1）
＝釧路市

夢はアイヌのおどり手

にある「番八」という食堂のおじさんが教えてくれます。毎年、「イタカンロー」というアイヌ語で話もよおしが開かれています。そこで今まで、「クスウェプトゥトゥ」というハトの歌や、コンブを干す歌などを発表しました。

――読者のみんなに知ってほしいことは。

ひいおばあちゃんは、アイヌだということで差別された経験があります。そういう風に見ないでほしい。アイヌも他の人も同じだと知ってほしいです。

――将来の夢は。

アイヌのおどりのおどり手になって、阿寒湖にある『イコロ』という劇場に立ちたいです。

◇

「ペカチ　マッネカチ」は「男の子　女の子」の意味です。若いアイヌの人にインタビューするコーナーです。

――学校の授業で、好きな教科は何ですか。

理科と体育です。理科は生き物の観察も実験も好きです。授業以外では、日本の歴史を本で調べるのが楽しみ。特に興味がある人は正岡子規（明治時代に新しい短歌や俳句の形を作った人）、渋沢栄一（明治、大正時代の実業家）、聖徳太子（飛鳥時代に天皇を中心にした国づくりを目指した人）です。

――好きなマンガは。

「ゴールデンカムイ」「ワンピース」「青の祓魔師（エクソシスト）」です。

――アイヌ語やアイヌ文化について学んだことはありますか。

アイヌ語やアイヌのおどり、歌を勉強しています。日高管内様似町でアイヌ語の先生をしている大野徹人さんが、阿寒にも来て教えてくれます。おどりや歌は、近所